

2024年4月26日

フランス製薬大手セルヴィエとの提携拡大のお知らせ

ルクサナバイオテック株式会社（代表取締役社長 CEO：佐藤秀昭、本社：大阪府吹田市、以下「ルクサナバイオテック」）は、グローバル製薬グループであるセルヴィエ（社長：Olivier Laureau、本社：フランス、シューレーヌ市、以下「セルヴィエ」）との間で、神経疾患領域における共同創薬研究に関する提携を拡大したことをお知らせします。

ルクサナバイオテックとセルヴィエは、2023年に神経疾患領域における革新的治療薬の開発を目的とする共同創薬研究及びオプション契約を締結しました。今般、ルクサナバイオテックとセルヴィエは、複数の標的遺伝子を対象に戦略的提携を拡大することとなりました。

新たな共同創薬研究契約のもと、ルクサナバイオテックが保有する画期的な人工修飾核酸技術（以下「ルクサナ XNAs 技術」）を用いて、ルクサナバイオテックとセルヴィエは、神経疾患の革新的治療薬となり得る新たな標的遺伝子に対するアンチセンスオリゴヌクレオチド（以下、アンチセンス核酸）のリード化合物の最適化を実施します。

本契提携の拡大により、ルクサナバイオテックはセルヴィエから契約一時金及びびを受領します。また、第1ステージでのマイルストーンを達成した場合、ルクサナバイオテックはセルヴィエから更なるマイルストーンフィーを受領することができます。

ルクサナバイオテック代表取締役社長 CEO 佐藤秀昭は、「ルクサナバイオテックはルクサナ XNAs 技術の神経疾患領域への応用を追求し、アンチセンス核酸創薬プラットフォーム（以下、LuxiAP®）を強化してまいりました。今般、我々の取り組みが評価され、グローバル製薬グループであるセルヴィエとの戦略的提携を拡大するに至ったことを大変喜ばしく思います。セルヴィエとの提携拡大により、ルクサナ XNAs 技術を用いた核酸医薬品の開発が促進され、社会実装が加速されることを期待します」と述べています。

ルクサナ XNAs 技術について：

大阪大学大学院薬学研究科生物有機化学分野 小比賀 聡教授らの研究成果により生み出された、AmNA®、scpBNA®、GuNA®、5'-CP®等の人工修飾核酸群を総称して「ルクサナ XNAs 技術」と称します。RNA への強い結合力や高い毒性低減効果の特性を生かし、高活性と低毒性を両立したアンチセンス核酸を創製することができます。

2024年4月26日

ルクサナバイオテック株式会社について:

ルクサナバイオテックは、大阪大学発の人工修飾核酸群を基盤とした核酸医薬創薬プラットフォームを用いて、安全かつ効果的な医薬品の実用化を進めるために設立されたバイオテックです。有効な薬のない病気と闘う患者さんと支える方々へ福音となる核酸医薬品を届けることをめざしています。アンチセンス核酸を主開発品とし、複数の製薬会社との共同開発と自社創薬を積極的に推進しています。

【問い合わせ】

ルクサナバイオテック株式会社 管理部

E-mail: info@luxnabiotech.co.jp

HP: <https://luxnabiotech.co.jp/>